

[研究課題名]

北関東多施設におけるHCV感染患者の現況についての疫学調査

当院の研究責任者	小池 健郎 (消化器内科医長)
本研究代表者	池上 正 (東京医科大学茨城医療センター 消化器内科教授)
本研究の目的	C型肝炎の治療を受けた患者さんの基本的な情報を北関東3県(栃木県・群馬県・茨城県)の多施設で収集し、患者さんの集団の特性について解析し、いち早く治療に結びつけるための方策のヒントを得ようとするのが本研究の目的。
研究期間	研究期間は許可日～2022年6月30日
研究の方法 (使用する試料等)	<p>●対象患者</p> <p>2019年1月1日から2020年12月31日までに、国立病院機構栃木医療センターを受診されC型肝炎ウイルスに対する治療を受けた患者さん</p> <p>●利用情報</p> <p>診療録から得られる患者情報、受診経路、HCV ジェノタイプまたはセロタイプ)、肝疾患進行度、インターフェロン不使用抗ウイルス療法 (DAA) に対する治療助成金有無、推定感染経路、治療開始前血液検査データ、該当診療科初診日、DAA 治療開始日、最終受診日、DAA 治療前の肝細胞がん治療歴有無、糖尿病有無、肥満 (BMI>25) 有無、ウイルス排除有無、肝細胞がん発生の有無</p>
試料/情報の 他の研究機関への提供	多機関共同研究であり、研究代表者の研究機関へ提供。
個人情報の取り扱い	試料及び診療情報は匿名化され研究に利用。学術目的のために論文や学会で公表されるが、患者個人情報は厳守。
本研究の資金源 (利益相反)	厚生省「肝炎ウイルス感染状況の把握及び肝炎ウイルス排除への方策に資する疫学研究」
お問い合わせ先	電話：028-622-5241(代) 栃木医療センター 担当者：小池 健郎 (消化器内科医長)